

My Favorite Life Style



ひと目見て「入居したい」と思わせるような魅力を放つのも「エキスパートオフィス」の特徴。再生されたビルとは思えないほどのグレード感で、大きな支持を獲得している。

「新しい東京」づくりは、大型再開発だけではない。

リノベーションという概念もすっかり定着した昨今だが、時代はさらに進んでいる。小型のオフィスビルをレンタルオフィスとして再生する「エキスパートオフィス」事業で注目を集めているのが、日総ビルディングだ。

同社は、企画・運営・管理を一手に担う総合不動産ディベロッパー。現在、運営する物件は都内を中心に20拠点を超えており、主にオフィスや商業施設として稼働させている。エキスパートオフィスもこの一部だが、レンタルオフィスはそれほど珍しいものでもない。では、何が違うのか。同社の社長を務める大西紀男氏に話をうかがった。

――まずは事業開始のきっかけからお聞かせください。

発端は、2007年に始めたスモールオフィス事業ですね。その5年後に現在のエキスパートオフィス事業を開始したのですが、従来のように1フロアに貸すだけでなく、中を区切ってさまざまな規模の企業に対応できるよう工夫したりもしています。

――拝見したところ、印象的な空間が多いですね。

小規模であってもモカオリテイを落とし、広いラウンジや会議スペースなどが一通り揃った状態でお貸ししています。高級感を大切にしたレンタルオフィスとお考えいただけばよいと思いますが、この分野は外資系企業のフィールド



現在は東京・品川・新橋・渋谷・麹町・虎ノ門・新横浜の7拠点を展開中のレンタルオフィス。それ以外の再生ビルも実績を伸ばしており、ミシュランの星獲得店を含む飲食店が1フロアに1軒入居している「銀座745」も同社の仕事だ。

でしたので、当初は苦労しましたね。

――サービス内容で重視している点は？

まず、価格の透明性です。契約も可能な限りシンプルにして、ご安心いただけるシステムにすることにこだわりました。リースナブルな料金でありながら、防音や空調設備はハイグレードなものを使い、インテリアも和のテイストを取り入れています。

――活用するメリットは？

料金以上の環境が得られるのも大きいですが、入居したその日に仕事を始められる点も魅力だと思います。退去時は原状回復も不要ですから、これから大きく成長しようという会社さんが多いですね。

――どんな企業が入居されているのですか？

設立まもない企業や海外地方企業の拠点ですね。公認

会計士や弁護士、税理士など士業の方々も多いです。付加サービスとして毎月一度、セミナーや参加無料の交流会を開いているのですが、全店合同交流会は100名くらいの規模になります。ユーザー同士の交流も活発ですよ。

――時代の先端でありながら、ハートウォームな雰囲気ですよ。

不動産は、いつの時代もフェイストゥフェイスです。たとえば物件を取得する際も、一番高くお金を出せばよいものではありません、やはり人間と人間の関係は大事です。

――最近の「働き方改革」の波にも乗れそうですね。

それは実感します。大企業がサテライトオフィスとして活用くださる事例が増えてきましたから。いまフリーアドレスのオフィスが流行っていますが、レンタルオフィスはその拡張版のようなものですね。今後は、高



日総ビルディング株式会社 大西 紀男 社長

1946年、横浜市生まれ。慶応大学経済学部卒業後、三菱信託銀行入社。退職後、東横倉庫株式会社の代表取締役役に就任。同社整理後、日総ビルディング株式会社を設立、2003年より取締役社長、以後現職。

日総ビルディング株式会社

本社/東京都千代田区内幸町1-3-1 幸ビルディング
0120-587-560

<https://nissobldg.co.jp>

日総ビルディング

検索



日総ビルディング株式会社